

## 臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

### <研究課題名>

感染性心内膜炎における栄養指標の予後予測性に関する探索的観察研究

### <研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 齋藤 佑記

### <研究期間>

承認日 ~ 西暦 2021年 12月 31日

### <研究の目的と意義>

近年、心血管系疾患において栄養状態が予後に大きく関わる事が報告されています。感染性心内膜炎は、診断や治療法の進歩にも関わらず、依然予後不良の疾患であります。過去の研究では、炎症や心不全のマーカーや腎不全が予後に関係することが報告されていますが、栄養状態と感染性心内膜炎の予後との関係性については明らかではありません。本研究では、栄養状態の指標（主には簡易的に栄養状態を反映する指標である Controlling Nutrition Status (CONUT) スコアなど）が感染性心内膜炎の予後を予測することができるか検討を行います。

### <利用する試料・情報の項目>

研究のために新たにデータを収集することはございません。過去の診療記録と検査データをデータとして利用します。

### <対象となる患者さん>

西暦 2014年1月1日～西暦 2018年11月21日の期間に当院循環器内科で感染性心内膜炎の治療を開始された方

### <研究の方法>

対象の方の診療情報と血液検査データをもとに、栄養状態を反映する指標（総コレステロール値、血清アルブミン値、リンパ球数から算出される CONUT スコアなど）を算出し、経過との関連性を検討します。

### <外部への試料・情報の提供等>

本研究では、日本大学病院 循環器内科にて診療の過程で取得された血液検査データ、生理検査データ、診療データを個人情報とは関係ない研究対象者コードを付して匿名化し、研究対象者のプライバシー保護に十分配慮した上で日本大学病院 循環器内科(研究責任者 飯田圭)より情報提供を受けます。当院から外部へ資料・情報を提供することはありません。

### <研究組織>

共同研究機関

日本大学病院 循環器内科

医員 飯田圭、部長 松本直也

### <お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科 氏名:齋藤 佑記

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8451